

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和7年度）

施設名	吹田市花とみどりの情報センター	所管部室課名	土木部公園みどり室
所在地	吹田市津雲台1-2-1	設置年月日	平成24年（2012年）9月3日

1 施設の概要

(1)設置目的	花とみどりに関する情報の普及を図るとともに花とみどりにふれあう市民相互の交流の場を提供し、もって緑化意識の高揚に資することを目的とする。
(2)規模、開館日等	【規模】 展示室 1室 講習室 1室 【開館日時等】 開館時間：10：00～18：00 休館日月曜日、祝日（祝日が月曜日と重なったときは、その翌日も休館）、12月29日～1月3日、みどりの日は開館

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	株式会社日比谷アメニス					
(2)指定期間	令和8年4月1日～令和13年3月31日（5年間）					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	ア 事業の実施に関する業務 イ 使用の許可に関する業務 ウ 使用料の徴収に関する業務 エ 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務 オ アからエのほか、センターの管理に関し市長が必要と認める業務					
(5)指定管理者の収支			令和6年度		令和7年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収入	指定管理料又は利用料金（円）	25,564,000	25,564,000	25,564,000	25,564,000
		自主事業（円）	—	280,332	—	473,991
		その他（円）				
	支出	管理経費（円）	25,564,000	25,608,407	25,564,000	25,545,539
		自主事業（円）	—	123,369	—	129,876
		その他（円）				
	収支差額（円）		0	112,556	0	362,576

3 成果指標（活動指標）

成果指標（活動指標）		令和6年度		令和7年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	市民等による都市公園等の活用の促進 ・「つかうPJ」の活動支援件数（件）	10	9	10	1
2	公園樹木・街路樹の良好な維持管理のための市民協働の促進 ・「すいたの樹木ガイド」の参加者数（人）	200	200	200	184
3	地域での花とみどりのまちづくり活動の活性化 ・「はなみどガーデンセミナー」の参加者数（人）	60	93	60	84
4	花とみどりに係る活動の支援 ・「花とみどりのフェア」のイベント参加者数（人）	3000	1800	3000	1800
5	花とみどりに係る活動の支援 ・講習会等の参加者アンケートによる満足度（%）	70	92	70	96

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	ア 相談・問合せ・苦情・要望・称賛の記録（通年実施） イ 講習会参加者アンケートの実施（毎回実施）
(2)把握結果	主な意見として、次のものがあつた。 ア 樹木ガイドに参加し、樹木について詳しく知ることができた。別の季節の植物についても知りたい。 イ こんなに楽しいイベントがあるとは知らなかったが、偶然参加できて満足。また参加したい。
(3)結果を受けての対応状況	ア 樹木ガイドは、一年間を通して行っており、なるべく季節の草木の説明を盛り込むようにしている。 イ イベントの情報については、市報やSNSで情報発信し、より多くの市民の目にとまるよう工夫している。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	園芸相談について、モニターの設置や筆談を行い、利用に抵抗が無いようにしている。子連れの方も施設に足を運びやすいよう、子どもスペースを設けている。講習会やイベントについては適宜内容を見直し、子どもを含めた幅広い世代の方が参加できるよう工夫している。
(2)施設の効用の発揮	自主事業として園芸販売を行い、施設の利用促進・利便性の向上に努めている。千里南公園が近接している立地を生かし、公園を使った取組みやイベントを行っている。市民の緑化意識の高揚に資するべく、様々な方向からみどりに関する講習を頻繁に開催している。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	必要な資格者を設置しているとともに、安定した管理運営を行う体制が確保できている。また、オンラインを含めた研修を定期的に行い、能力の向上に努めている。経営に関しては、経理簿帳を備え、適切に経理事務を行っており、会社も安定的な管理運営が可能な財政的基盤を有している。
(4)施設の管理経費の縮減	社内ですystem管理によるペーパーレス化を行い、経費縮減に取り組んでいる。また、不便な照明の消灯、温湿度計の適正管理や、クールビズ・ウォームビズに対応した制服の改善など、環境に配慮している。
(5)効果的な事業運営	公園を「つかう」プロジェクトとして、これまで出向いたことのない公園でイベントを開催し、より多くの市民に本施設を知ってもらうきっかけになった。また、すいたの樹木ガイドやサクラみまもり講座では、計10か所で市民が公園や街路の樹木に親しむ機会を創出し、市民のみどりに対する関心が深まるものとなった。花とみどりに関する情報の発信も行っており、SNSフォロワーは継続的に増加している。
(6)総合評価	管理運営方針に沿って、公の施設として適切に運営されている。市民に対する園芸相談や講習室で花とみどりにふれあうイベントを頻繁に実施しているほか、市報やSNSを活用し花とみどりに関する情報発信を行っており、施設の設置目的である市民の緑化意識の高揚に資する事業が進められている。各イベントのアンケート評価は高く評価できるが、多様化する市民ニーズに対応した事業展開が必要である。